

豊後高田市教育委員会アクションプラン

目標及び指標

【目標】

- ① 失敗を恐れず学ぼうとする学習意欲の向上。
 - 知識・技能の定着率の向上。
 - 知識・技能を活用する力の向上
- ② マネジメントサイクルを生かした校内研究の日常化(授業改造による質の高い授業・OJTの日常化)
 - 学力向上支援教員及び習熟度別指導推進教員、指導教諭の組織的な活用の充実(公開授業・授業づくり講座・ブロック学力向上会議)
 - 教科部会・学年部会の充実及び補充指導の充実
 - 学校図書館を活用した指導体制の確立

達成指標	取組指標
<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力調査において、学習意欲の項目で、全国平均値を上回ること。 ○全国学力調査において、管内全学校で、すべての教科において全国平均値を上回ること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○重点目標(4点セット)・学力向上プラン・授業改善計画(5点セット)が連動している学校⇒100% ○個人授業改善計画を作成・実施している学校⇒100%
<ul style="list-style-type: none"> ○マネジメントサイクルを生かした校内研究の日常化(授業改造による質の高い授業・OJTの日常化) ・研究内容の授業への反映率が50%以上(年間時数)の学校⇒100% ○学力向上支援教員及び習熟度別指導推進教員、指導教諭の組織的な活用の充実 ・教職員アンケートで「有効であった」と答えた割合70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人授業改善計画を作成・実施している学校⇒100% ○学力向上支援教員及び習熟度別指導推進教員、指導教諭による取組の充実 ・開授業3回以上・授業づくり講座10回以上・ブロック学力向上会議年間3回以上・校内指導35回以上 ・業務日誌を記録し、各自の指導回数(校外・校内)の累計⇒年間50回以上
<ul style="list-style-type: none"> ○教科部会・学年部会の充実による授業改造の推進 ・各部会による公開授業での活用型授業の実施 → 100% ○補充指導の充実 ・「授業評価」で「おおむね満足できない」児童生徒への対策を実施している学校 ⇒ 100% 	<ul style="list-style-type: none"> ○部会長・責任者と指導主事との連携 ・指導主事の指導・助言⇒各部会年間3回以上 ・部会の年間開催回数⇒教科部会6回以上、学年部会3回以上 ○授業評価で「おおむね満足でない」児童生徒への対策会議の開催⇒ 学期1回以上
<ul style="list-style-type: none"> ○学校図書館を活用した指導体制の確立 ・児童生徒が複数の書籍から必要な情報を集め、自分の考えを発表する授業の実施 ⇒ 全校 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校図書館活用の教育課程上への位置づけ及び実践⇒100% ○司書教諭等による学校図書館教育計画(教育課程)を作成している学校⇒100%

行動計画

① 授業改善に関する行動計画

- ア 学校全体で取り組む授業改善に向けて(管理職による授業改善の推進は必須、小学校における教科担任制の推進を含む)
 - 管理職のリーダーシップによる組織的な授業改善の推進
 - ・4点セット・学力向上プラン・5点セットの連動
 - ・個人授業改善計画を作成・実施
 - 学力向上支援教員及び習熟度別指導推進教員、指導教諭の組織的な活用の充実(業務日誌・公開授業・授業づくり講座・ブロック学力向上会議・校内指導等)
 - ・業務日誌を記録し学力向上支援教員・習熟度別指導推進教員・指導教諭の指導(校外・校内)の充実
 - ・公開授業3回以上・授業づくり講座10回以上・ブロック学力向上会議年間3回以上・校内指導35回以上
 - 質の高い授業づくりのための学力向上支援教員・習熟度別指導推進教員、指導教諭による積極的な授業公開
 - 授業改善を図るための日常的な校長の授業観察による指導及び互見授業の実施
 - 教務主任による教育課程の管理・運営(カリキュラム・マネジメント)の充実(年3回の教務主任会議)
 - マネジメントサイクルを生かした校内研究の日常化(授業改造による質の高い授業・OJTの日常化・個人授業改善計画の作成・実施)
 - ・研究内容の授業への反映率の向上
 - 小学校教科担任制の実施
 - ・教材研究の深化を図ることにより、児童の学習意欲を喚起し、授業の質の向上。
 - ・系統的な指導ができ、スパイラルに学びができる学習過程を実施。
- イ 習熟の程度に応じた指導の充実に向けて(補充指導の充実を含む)
 - 習熟度別指導を強化するための指導方法の工夫改善加配の活用
 - ・低学力層へのきめ細やかな指導により、つまづき解消や学習意欲の高揚。
 - ・評価規準を明確にし、個に応じた個別指導の充実を図り、上位層へのさらなるアップと低学力層の底上げ。
 - 授業評価で「おおむね満足でない」児童生徒への対策会議の開催
 - 授業評価で「おおむね満足でない」児童生徒への指導計画を作成
- ウ 司書教諭等を核とした学校図書館を活用した指導体制の確立に向けて
 - 学校図書館を活用した指導体制の確立
 - ・司書教諭等による学校図書館教育計画(教育課程)の作成及び実施
 - 学校図書館活用の教育課程上への位置づけ及び実践(探求型授業の推進・一人一実践)
- エ 市町村の教科部会を活用した授業改善に向けて(特に中学校)
 - 教科部会・学年部会の充実及び補充指導の充実
 - ・部会の年間開催回数⇒6回以上
 - 部会長・責任者と指導主事との連携
 - ・指導主事の指導・助言⇒各部会年間3回以上

② 学びに向かう学校づくりに関する行動計画(幼保小の連携・小中連携を含む)

- ・指導教諭を中心とした「学びに向かう学校」づくりを目指す校内校内研究体制の活用推進(推進校:豊後高田市立高田中学校)
- ・発問の質を向上させる。
- ・教育課程の中で思考力・判断力・表現力を高める指導を実施するところを明記する。
- ・総合的な学習の時間や学校図書館を活用した探求的な授業の推進
- ・読書の質の向上

③ 保護者・地域と連携した学力向上の取組に関する行動計画

- ア 放課後や土曜日の教育環境の充実
 - 毎週土曜日に地域と連携して実施(詳細は別紙)
 - ・生き生き土曜日事業(毎月1・3・5土曜日実施)・わくわく体験活動(2・4土曜日実施)
 - 放課後寺子屋講座(小学生:毎週月・火・木・金)
 - 放課後水曜日講座(中学生:水曜日)
 - のびのび放課後活動(社会体育等)
 - まなびのひろば(特別な支援を必要とする児童・生徒:毎月1・3土曜日)

④ その他

